

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、19人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(11月下旬掲載予定)



デジタル技術のフリースペースではメンターとの交流も

問 日本の子どものパソコン保有率は3割と、欧米に比べ極めて低い。デジタル化の遅れ、経済低迷の要因と考える。子どもがデジタル技術を学び、利用できるフリースペースの開設の考えは。

答 居場所としての有効性や可能性を広げる機会と認識している。他市の事業展開を注視したい。



プログラミングなどのフリースペースの開設

坪田 敏孝 議員

少子化対策

問 本市の合計特殊出生率は近年、下降している。出生率に関する指標を活用した対策は。

答 出生順位別合計特殊出生率は、本市は第2子まで国平均を上回り、第3子以降は下回っている。令和2年の有配偶出生率は、本市は63・5%、国平均は70・3%である。

問 不妊治療助成や子育てコンシェルジュなどの支援策を行っている。

軽・中等度難聴者への支援

問 65歳以上の住民税非課税世帯の人への補聴器購入助成の考えは。

答 助成を県内で実施している自治体があるが、多くは今年度開始しており、効果を研究したい。



竹飾り設置に奮闘中

問 竹飾りの状況と今後の課題は。

答 今年度は4年ぶりの開催であり、より多く飾れるように助成金を2倍にし、合計231本の掲出ができた。

問 今後の課題は、地域商店の人が高齢化する中、掲出する意欲はあるが、竹を運ぶ作業が難しく掲出数が減少することも考えられる。

各商店会内の協力体制

の充実や状況により、市職員の協力体制を引き続き図ることも含め検討が必要である。

ボール遊びの場づくり

問 取り組みの状況と今後のスケジュールは。

答 子どもが、身近に遊ぶことができる公園でのボール遊びをテーマに7月に「福岡中央公園でのボール遊びを考えるワークショップ」を開催した。

ワークショップでは、子どもと大人が同じ立ち位置で、ボール遊びに関する問題点や実施方法などを考え、議論し、取りまとめた上で発表を行った。

今回のワークショップの意見を受けて、庁内の関係課長会議で議論し、公園でのボール遊び実現に向けて取り組みを進めたい。



上福岡七夕まつりの竹飾り

加藤 恵一 議員